



野田小だより

学校教育目標

活力にあふれた学校

●がんばる子

●やさしい子

●学びつづける子



日常の幸せに感謝

平成30年7月2日

校長 小林 達哉

このところ、毎日30度超えの真夏日が続きますが、子どもたちはプールでの学習に大喜びしながら元気に活動しています。

6月21日に実施した「第1回学校評議員連絡会・学校関係者評価委員会・いじめ対策委員会」で、委員の皆さんから、「どのクラスも落ち着いて授業に取り組んでいました。」「担任の先生と子どもたちのコミュニケーションがよく取れていて、楽しく授業が行われていました。」

「最近、子どもたちが明るくなったような気がします。」などの、お褒めの言葉をいただき、大変うれしく思いました。委員の皆様に限りませんが、今後も地域・保護者の皆様には、子どもたちの見守りと御支援をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、先週のお話朝会で子どもたちに話した内容を御紹介します。タイトルは「野田小の子どもたちと世界の子どもたちをくらべてみよう」です。

野田小の子どもたちは、たまには嫌なこともあるけれど、毎日楽しく暮らしています。でも、世界の子どもたちの中には…。ということで、9か国の悲惨な状況に置かれた子どもたちの現状を紹介しました。さらに、

○世界には、家族の生活を支えるために働かなくてはならない子どもが大勢いて、危険で厳しい仕事をさせられている子どもは、7300万人もいる。

○世界には、マラリアなどによって、5歳の誕生日を迎える前に命を失ってしまう子が560万人もいる。

○世界には、1億6千万人の人々が池や川の汚れた水をそのまま使い、多くの子どもたちが下痢をしたり病気にかかったりしている。

○世界の5歳未満の子どもの4人に1人は栄養が足りていない。栄養が足りないと、病気にかかりやすくなったり、治りにくくなったりする

○世界の2億5千万人の子どもが、紛争のある国で暮らし、子ども兵士にさせられている子もいる。

○今も小学校に行けない子どもが、世界には6100万人いて、読み書きや計算ができないとお金を稼ぐことができないので、貧しい暮らしから抜け出せない。

という現状も伝えました。

その後、野田小の皆さんは、毎日、きれいな水を飲みます。栄養のあるご飯を食べられます。きれいなお風呂に入れます。快適な家で過ごせます。学校で勉強ができます。布団の中で安心して寝られます。と今の自分たちの生活を振り返りました。そして、「毎日の中に幸せが一杯あふれています。いつも幸せに囲まれて暮らしていることを忘れずに、これからも感謝の気持ちをもって生活しましょう。」と締めくくりました。

野田小の子どもたちが、日常の中にあるたくさんの幸せに感謝しながら、仲良く楽しくのびのびと成長してくれることを願い、今後も教職員一同、精一杯尽力してまいりますので、保護者と地域の皆様の御支援と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。